



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranet>
<http://www.nara9jyonet.com>
 26号 2019年1月2日発行



あけましておめでとうございます。
 今年も、世界に誇る日本国憲法9条を守るために頑張りましょう。



九条の会奈良県ネットワーク交流会が2018年12月6日14時から16時半まで教育会館2階第3会議室で開催され、16地域・分野18名が参加し活動交流や意見交換を行いました。

岡崎氏がネットワークを代表して「国会や市民運動で自民党は憲法審査会の開催を断念、安倍9条改憲NO!の3000万署名に届くように頑張っていきたい」と挨拶。生駒九条の会池田順作氏が「安倍改憲9条自衛隊明記にどう反論するか?」として「改憲阻止の重要性、発議を許さない闘い(世論づくり)の重要性」を抑えた上で「戦時体制への具体的な動き(防衛装備庁発足、軍産政の3者癒着、2015年新ガイドラインによる日米一体化)」を紹介、「思いやり予算や日米地位協定」がどれだけ理不尽で不平等な内容かを整理して報告されました。(資料はホームページの講演会資料PDFをクリックしてもらおうと印字されます。ご活用下さい)

九条の会奈良ネットワークの活動報告(ホームページ活動報告参照)を事務局佐川が行い、討論と交流を行いました。橿原に耳成西九条の会が新たに発足。うれしい報告です。

交流内容

対話を重視するとりくみの報告として、九条を知らせたいが参加者と相談しながら2週間に1回近鉄奈良駅前ですタンドイングと手のひらサイズのチラシ配布、対話中心のシール投票や署名活動を紹介。広陵(事務局報告)では地域・戸別訪問署名活動を紹介。9月1日から9月9日の「全国一斉署名行動週間」に9月8日、16日に実施。1時間半、あらかじめピックアップした家を両日で65軒訪問、55軒対話ができ、33筆集約。12月まで地域訪問も13回実施。判断に迷っている人が多く、話を聞いて対話していくことが重要との教訓が出される。

どう九条の活動を地域に広げていくのか工夫されています。河合はニュースに工夫、170部配布。斑鳩は3月に公民館まつりに参加。平群は信貴山の祭日に署名、町の文化祭にあまごの塩焼きを出店、市民権を得ている。九条平和連風大会参加、5月3日ピースウォークで町内パレードを行い、九条の会をどう知らせていくのか活動している。平城ニュータウンでは、生協平和の会と共同で「平和っていいねフェスタ」を3月に。若い人の参加をすすめていきたい。

署名活動では、生駒は想定される質問応答には「我々の引き出しをたくさん蓄えよう」と準備、対話15分のポイントが重要。橿原や桜井では成人式会場での署名。耳成は19行動を耳成駅で二人で1時間。耳成西は女性二人で発足。19行動で新ノ口駅で署名活動を行う。介護施設が協力的で1000筆集約。三郷は19日行動を行う。町の行事では8割がビラ受取る。介護施設が非常に協力的で小さい施設でも20筆30筆集まる。桜井、毎月1回街宣、平和の集いでは「はだしのゲン」上映。

野党統一行動への動きが大切との具体的な活動が報告。橿原では、「全野党共闘を目指そう、下からのたたかいが重要。市民レベルでの野党統一候補を生み出そう」と「子どもたちの未来と憲法を語る市民の集い」実行委員会で香山リカさんの講演会を企画している。桜井では12月8日浅川肇(戦争させない奈良1000人委員会呼びかけ人)さんに講演をお願いしている。

蟻の会はうたごえを通じて平和活動をすすめている。

まとめとして、北野重一氏が「どう状況を切り開くのが重要。来年の参議院選挙でどう勝つのか。12月22日市民連合主催、香山リカさんの講演会を成功させ、来年の参議院選挙に繋げていきたい」と述べました。

平群九条の会11月19日道の駅スタンディング活動 11月26日道の駅署名活動





平城ニュータウン九条の会は12月8日に太平洋戦争開戦から77年目、高の原駅前街頭署名を実施。開戦記念日という事で歩道橋の両側に原爆投下の広島や戦災の写真を掲示、当時、徴兵に使われた赤紙を配布。通行の途中で写真を見たり、中学生や若い人も赤紙を手にとっていました。若い女性が署名の主旨をじっと読み、自衛隊が集団的自衛権を持ち海外に戦争に行くことができるようになっていくという説明を聞きながら署名。署名は21筆集約。11筆集めた会員が九条の会奈良県交流会で「目をしっかり見て訴えたい」との意見を思い出して「私達は若い人を戦争に行かさないために署名しているのです」と訴えると2~3人署名をしてくれました。訴えを聞いていた年配の女性が自ら署名。「署名のお願いに来られるのを待っていたんだけど」と。もっと積極的に訴えていかないとと思いました。

王寺町教育問題を考える会が「王寺町の義務教育学校について学習会」を開催。2022年4月開校をめざす王寺町の義務教育学校は「多くの住民に知らせず、拙速に進められている」と幡野王寺町議が報告。山本由美さんは「王寺町は過疎地でもなく生徒数も多い。義務教育学校にする必要性は見当たらない。校舎建設費の2分の1の国庫補助金が目当てではないか。義務教育学校の問題点として、教育的効果の検証がされておらず、教育内容の前倒しや5・6年生のリーダーとしての成長保障が困難になる。」強調されました。

「憲法九条の会・生駒」は創立14周年にあたる12月1日、生駒市コミュニティセンター文化ホールで、映画「南京・引き裂かれた記憶」の上映と、松岡環監督の講演会を開き、127名が参加して鑑賞。かつての戦争によって、日本がアジアの国々とその地に住む多くの人々に、どれほど大きな被害をもたらし、どれほど大きな罪を犯したか、をきちんと認めない人たちが、いま日本国憲法を、とりわけ戦争放棄を謳った9条を変えようと画策している今日、改めてあの巨大な戦争犯罪を糾弾しなければならない。そして憲法9条は絶対に守らねばならない、その思いをいっそう強くした1日でした。

感想から；①戦争は人間を狂気にし動物以下にしてしまう。日本にいれば普通の善良な兄さん、お父さんのはずが、赤紙1枚で戦場に送られれば、殺人、強盗、強姦、放火、略奪などあらゆる巨大な罪を犯す人間と化す。いや、そうさせられる。本当に狂気になった人もいる。善良な日本人をそうさせたのは誰か？ そのように日本を引っ張った責任者は誰か？そして憲法9条は絶対に守らねばならない、その思いをいっそう強くした1日でした。②母の手記を参考に語り部をしています。手記の最後に、絶対戦争をしてはいけない、若い人々、沢山の人の犠牲の上に今があると遺言を残しています。今日の映画はいろいろ思い出し、涙があふれ出ました。すごい映画です。つらい体験をよく語ってくれた。戦争は絶対ダメだと思ってしまう。③松岡さんのインタビューの仕方がすごいと思う。相手が言いたくもないことで、言葉を濁しそうになっても、本当にどうやって殺したか、どう強姦されたか、何を見たか、の事実の1つ1つを確認しつつ聞き出した、これは相手との信頼感を作れたからこそ出来たのだろう。その熱意に感服！



白樫九条の会が11月17-18日、橿原ニュータウン連合自治会主催の文化祭に出展。テーマは「沖縄に日本国憲法が存在するか？」です。地元紙の琉球新報と沖縄タイムス両紙の10月1日号(第1面・沖縄知事選挙結果)・沖縄県米軍の重大な事故・事件の写真パネル・故翁長雄志前知事の 写真・嬉野京子氏の写真・DAYS JAPANの月間写真誌(沖縄特集)の展示およびDVD上映(南京事件Ⅱ、歴史修正を検証せよ)を上映。戦争遺品展示も行い、熱心に展示品を ご覧いただきました。残念でしたが、今回の入場者は昨年の半分の300人ほどでした。来年も参加できるように頑張りたいと思います。

辺野古への土砂投入を県民投票までの中止を求めるホワイトハウスへの請願署名のお願い

2019年1月7日までですでお急ぎ下さい。

ハワイ州在住のロブ・カジハラさんがホワイトハウスに「沖縄名護市辺野古の基地建設の是非を問う県民投票が実施されるまでは埋め立てをやめるよう求める」電子署名の受付をホームページ上で開始しました。電子署名は、市民から広く請願を受け付ける目的でオバマ政権が開始したウェブサイト「ウィー・ザ・ピープル」を利用し、カジハラさんが提起したものです。1月7日までに10万人分の署名が集まるという要件を満たせば、ホワイトハウスは60日以内に何らかの対応をする制度になっています。署名は13歳以上で電子メールアドレスを持っていれば誰でもできます。今、17万3千で請願受付の条件は満たしていますが、もっと、多くの国民や国外の方にも知らせていけたらと考えます。カジハラさんは、ハワイのアメリカ大使館前でスタンディングして支援を訴えています。

ホワイトハウス署名サイトへの短縮URL

<https://bit.ly/2G5mKwV>